

# 面接個票 (自己PR)

大阪府教育委員会

※裏面の記入要領をよく読んでから記入してください。

裏面の要領にしたがって個票を作成し、4枚の面接個票を面接当日に持参してください。

- 必要事項を記入し、写真を貼付してください。
- 次にコピーを3部取ってください。(表面のみ。サイズはA3のまま。)

この枠内に写真を貼付すること。  (4cm×3cm)  (6ヶ月以内のもの)	選考区分・出願区分			校種等	
	受験番号			教科(科目)	( )
	(ふりがな) 氏名			生年月日 (R3.4.1 時点の年齢) 昭和 年 月 日生( 歳) 平成	
	現住所 〒		電話 ( ) ( ) - ( ) 携帯 ( ) ( ) - ( )		方呼出し
現住所以外 の連絡先 〒		電話 ( ) ( ) - ( )		方呼出し	

学歴	在学期間	種類	学校名	区分	学校所在地	所有(見込)免許状		
	年 月～ 年 月	国立・公立・私立	高等学校	卒業	都道府県	種類	教科	取得(見込)年月
年 月～ 年 月	国立・公立・私立	大学	学部	卒業	都道府県			
年 月～ 年 月	国立・公立・私立	大学院	研究科	修了	都道府県			
年 月～ 年 月	国立・公立・私立		卒業	都道府県				

職歴	S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月	勤務先	職名	所有(見込)資格		
	S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月				資格名	取得(見込)年月
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月						
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月						
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月						
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月						
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月				[教育実習校名]		
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月				立 学校( 年 月)		
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月				立 学校( 年 月)		
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月				[卒論・演習等テーマ]		
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月						
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月				[過去に経験した校務分掌等(現職教諭のみ記入)]		
S・H・R 年 月～ S・H・R 年 月						

○ 志望動機について  
裏面の【記入要領】<共通>に従って、ご記入ください。

○ これまで取り組んできたことについて  
裏面の各【選考区分・出願区分】の【記入要領】に従って、ご記入ください。

○ ボランティア等の経験について  
裏面の【記入要領】<共通>に従って、ご記入ください。  
都道府県等が行う、いわゆる「教師養成塾」等(「大阪教志セミナー」を含む)に参加した経験についても、この欄にお書きください。

○ 懲戒処分歴について裏面の【記入要領】<共通>16.に従って、ご記入ください。

有  無

## 面接個票の取り扱いについて（注意）

- この面接個票は、第3次選考面接テストの際に使用するものです。あらかじめ記入し、面接当日に必ず持参してください。面接当日に持参しなかった場合は、個人面接テストを受験できないことがあります。
- 記入する際は、書き損じ、用紙の汚損等のないように注意してください。  
(<http://www.pref.osaka.lg.jp/kyoshokuin/kyosai/index.html>– 面接個票の用紙は、こちらの URL からダウンロードできます。)
- 【記入要領】<共通>及び【記入要領】**各選考区分・出願区分**にしたがって、作成してください。

### 【記入要領】< 共通 >

■ 次の要領にしたがって個票を作成し、4枚の面接個票を面接当日に持参してください。

- 必要事項を記入し、写真を貼付してください。
- 次に、コピーを3部取ってください。（表面のみ。サイズはA3のまま。）

1. 折り曲げるときは二つ折りにしてください。
2. 原本の記入は必ずボールペンを使用してください。消しゴムや熱で消えるボールペンは使用しないでください。
3. 別紙への記入や資料の添付は認めません。記入事項は、すべてこの用紙の指定された欄に納まるようにまとめてください。
4. 書き誤ったときは、2本線で消して訂正してください（訂正印不要）。
5. **選考区分・出願区分**の欄には、以下の表を参照のうえ、各自の区分に応じて記入してください。

選考区分・出願区分	面接個票への記入
一般選考（一般対象者）	一般（一般）
一般選考（教員チャレンジテスト対象者）	一般（チャレンジテスト）
一般選考（大学等推薦者）	一般（大学推薦）
特別選考（障がい者対象の選考）	特別（障がい）
特別選考（現職教諭対象の選考）	特別（現職教諭）
特別選考（大学院進（在）学者対象の選考）	特別（大学院）

6. **校種等**の欄には、以下の表を参照のうえ、各自の受験校種等を記入してください。

校種等	面接個票への表記	校種等	面接個票への表記
小学校	小	支援学校 幼稚部・小学部共通	支援（幼小）
小中いきいき連携	小中	支援学校 小学部	支援（小）
中学校	中	支援学校 中学部	支援（中）
高等学校	高	支援学校 高等部	支援（高）
養護教諭	養教	支援学校 自立活動	支援（自活）
栄養教諭	栄養		

7. **教科(科目)**の欄には、地理歴史（世界史）、公民（倫理）、理科（化学）、工業（機械）というように記入してください。校種等の欄に「小」、「小中」、「養教」、「栄養」、「支援（幼小）」、「支援（小）」、「支援（自活）」と記入した人は、この欄の記入は不要です。また、国語、数学、英語等の科目区分のない教科については、教科名のみを記入してください。
8. **現住所以外の連絡先**の欄には、現住所以外に連絡をとれる連絡先を記入してください。
9. **学歴**の欄には、高等学校卒業から現在までの間の学歴を、**職歴**の欄には、職歴を直近のものから順にすべて記入してください。学歴、職歴が書ききれない場合は、2段書きにするなど工夫して記入してください。在学期間については、「昭和」の場合は「S」を、「平成」の場合は「H」を、令和の場合は「R」を、先頭に記入してください。また、学歴・職歴の選択項目については該当するものを○で囲んでください。  
※ 学歴については、教員免許取得のための学歴（科目履修等）、中退歴等は、学校名の欄にその旨を記入してください。
10. **所有(見込)免許状**の欄は、教育職員免許状について受験校種・教科の免許状から記入し、令和3年4月1日までに取得見込のものを含め、すべて記入してください。五つ以上あるときは、2段書きにするなど工夫してください。なお、司書教諭資格などは、**所有(見込)資格**の欄に記入してください。
11. **教育実習校名**の欄には、実習を行った学校をすべて（二つある場合は二つとも）記入してください。また、実習を行っていない人及び教科により実習が必要でない場合は、その旨を記入してください。
12. 写真は、この個票の所定の欄にしっかり糊づけしてください。その際、はがれた場合のために、写真の裏面に受験番号と氏名を必ず記入しておいてください。
13. 右上欄外の「配席番号」の欄は、当日に使用しますので、空欄のままにしておいてください。

14. ◎**志望動機**の欄：あなたが教員を志望したのは、どのような理由からですか。また、あなた自身のどのようなところが、教員に向いていると考えますか。さらに、教員としてどのようなことに重点的に取り組んでいきたいですか。具体的にお書きください。
15. ◎**ボランティア等の経験**の欄：スクールサポーターや子ども食堂、その他のボランティア等の経験について、具体的にお書きください。
16. ◎**懲戒処分歴**の欄：国家公務員法・地方公務員法や就業規則に基づく懲戒や制裁の処分歴について、処分歴の有無及び処分歴がある場合は処分を受けた時期及びその内容をお書きください。



### 【記入要領】 一般(一般)、一般(チャレンジテスト)、一般(大学推薦)、特別(障がい)

1. **過去に経験した校務分掌等（現職教諭のみ記入）**の欄は、記入は不要です。
2. ◎**これまで取り組んできたこと**についての欄：  
これまで、最も力を入れて取り組んでこられたことは何ですか。また、そのことが、学校教育にどのように役立つかについて具体的にお書きください。さらに、特にアピールしたい経験や特技等があれば具体的にお書きください。



### 【記入要領】 特別(現職教諭)

1. **過去に経験した校務分掌等（現職教諭のみ記入）**の欄：  
経験年数の長いものを中心に「教務部（3年）」などのように記入してください。
2. ◎**これまで取り組んできたこと**についての欄：  
これまで、教員としてどのようなことを心がけて実践をしてきましたか。具体的にお書きください。



### 【記入要領】 特別(大学院)

1. **過去に経験した校務分掌等（現職教諭のみ記入）**の欄は、記入は不要です。
2. ◎**これまで取り組んできたこと**についての欄：大学院ではどのような研究をされてきましたか。概要をお書きください。また、大学院で研究したことを教員としてどのように活かしていきたいですか。具体的にお書きください。